



学校だより 第3号

菩

提

樹

平成27年6月

高岡市立東五位小学校



麦秋の6月

言葉の力

校長 吉田 茂

東五位小学校では、昨年から、「**あったか言葉・あったか行動**」を推奨し、児童会を中心に全校で取組を継続しています。子供たちの感想の中には、「困っていたとき、『どうしたの?』と声をかけてもらい、手伝ってもらった。」「けがをした時『だいじょうぶ?』と言われ、保健室まで連れて行ってもらってうれしかった。」「休み時間に、『一緒に遊ぼう』と言われて楽しく遊べた。」等、文字通り心が**“あったか”**になる言葉がいくつもありました。また、私たち職員も、あったかい言葉を聞いて心がほのぼのとするなど、言葉の力を感じているところです。



- 作業をしている時に、「ぼくがします。」「私が代わります。」と言ってくれる子供の言葉で成長を感じ、うれしく思いました。
- 入学して日が浅い1年生の子供の多くが、毎朝校門で元気に「おはようございます」と、笑顔で言ってくれ、さわやかな気分になります。
- ある子がにこにこしながら「これ、家で咲いていたバラです。学校でかざってください。」と職員室にきれいなバラの花束を持ってきてくれました。家族の方のぬくもりを感じました。

しかし、成長途上の子供たちの中には、些細なことで腹を立てたり、トラブルが発生して言い争ったりすることもあり、取組はまだまだ道半ばといったところです。

口から出た言葉は、文字通り「言の葉」のように、ひらひらと漂います。その中で、思いやりのある“あったか言葉”は、葉っぱが肥やしとなり、相手の心の栄養分になります。しかし、トゲのある言葉は、相手の心に“言刃”となって突き刺さります。その後、ブーメランのように自分の身にはね返ってくることが多いようです。つまり、言った方も言われた方も、「心のすり傷」が絶えないということになります。

自分の言動を素直に振り返り、次に生かそうとする“自省心”を育てるためにも、私たちは子供の言い分をもっとしっかり受け止め、これからどうしていけばよいかを冷静に考えられるよう、心に届く言葉がけをしていきたいと思ひます。ご家庭におかれましても、日々お忙しい中、成長する子供たちの思いを受け止めていただいているものと思ひます。これからも、自省心を学校と共に育てていきましょう。

<毎月一日はノーマディアデー>

五位地区合同で、今年度、毎月一日をノーマディアデーとする取組を行うことになりました。テレビやゲーム、スマホの長時間視聴や睡眠不足等による子供たちの成長への悪影響を考え、改善するきっかけの日となることを願っています。

<教育講演会のお知らせ>

6月19日(金)午後7時より、東五位小学校体育館において、教育講演会を開催いたします。講師は、富山大学の神川康子先生で、演題は『**子供の学力と睡眠**』です。多くの方にご参加いただき、共に考えるよい機会になればと思います。

日程変更のお知らせ

学習発表会の開催日に変更になりました。予定もあったかと思いますが、ご理解ご協力をお願いします。

開催日 10月25日(日)

振替休業日 10月26日(月)